

地域特性調査結果

1 自然的特性

(1) 位置・地勢

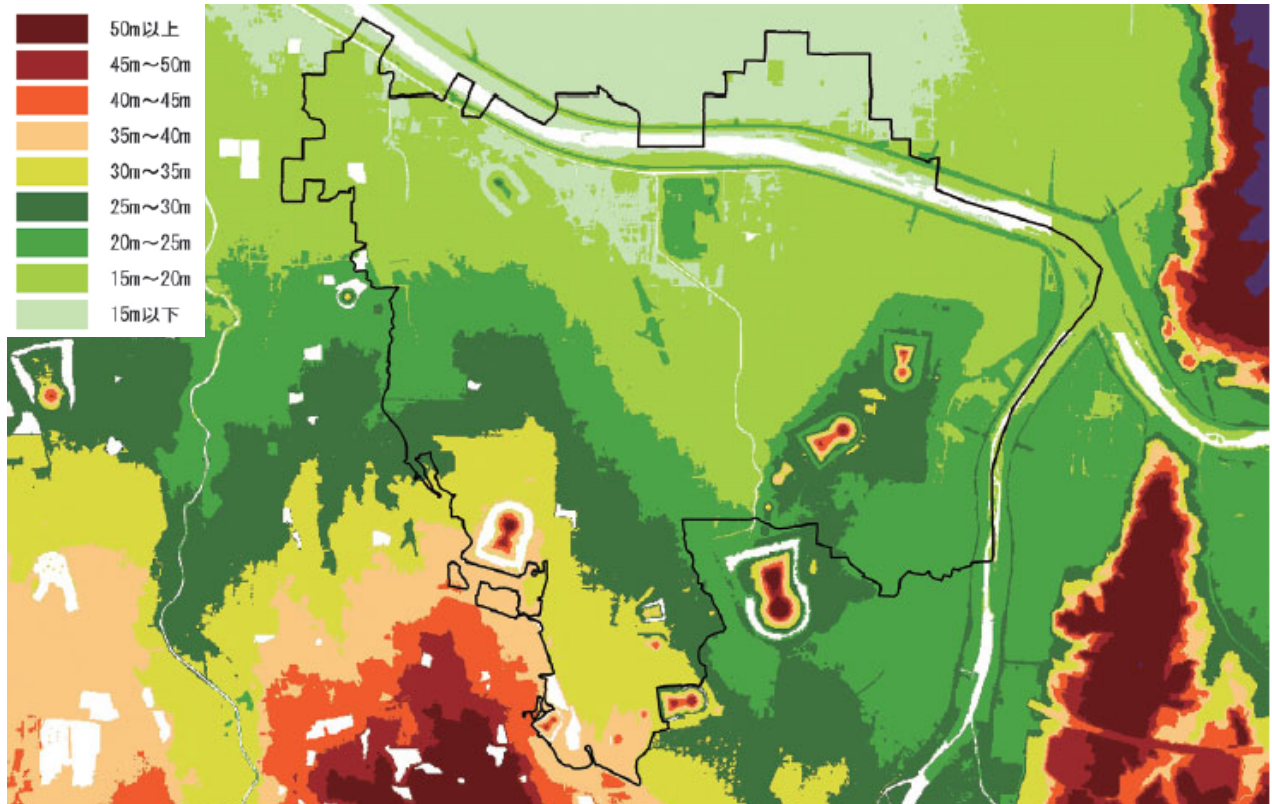
藤井寺市は大阪平野の南東部、和泉山脈から延び緩やかな起伏をなす羽曳野丘陵の北端に位置し、北部は八尾市、東部は柏原市、西部は松原市、南部は羽曳野市に接しています。

市域の広がり、東西約 4.2km、南北約 4.0km、面積 8.89km² で、大阪府内では最も小さく、コンパクトな市となっています。

また、丘陵部は標高 25m 前後、市域中央部の低地は標高 15m 前後で、起伏はほとんど無い地形です。市の特性である古墳は丘陵の端部に位置しており、市域内の最高部がこの古墳の陵頂（標高 55.0m）であることから、市域に点在する古墳は地域のランドマークとなっています。



▲本市の位置

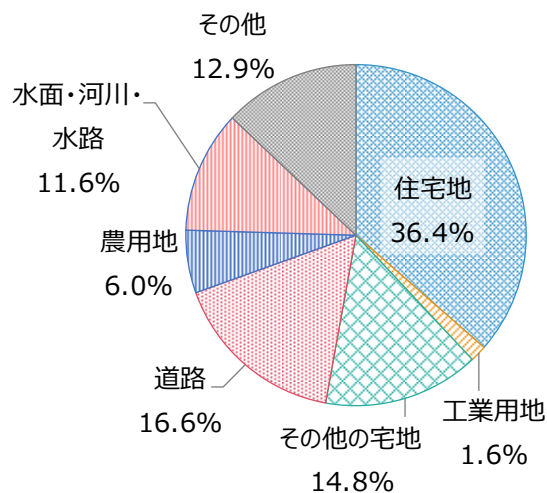


▲本市の地形

資料：藤井寺市都市計画マスタープラン

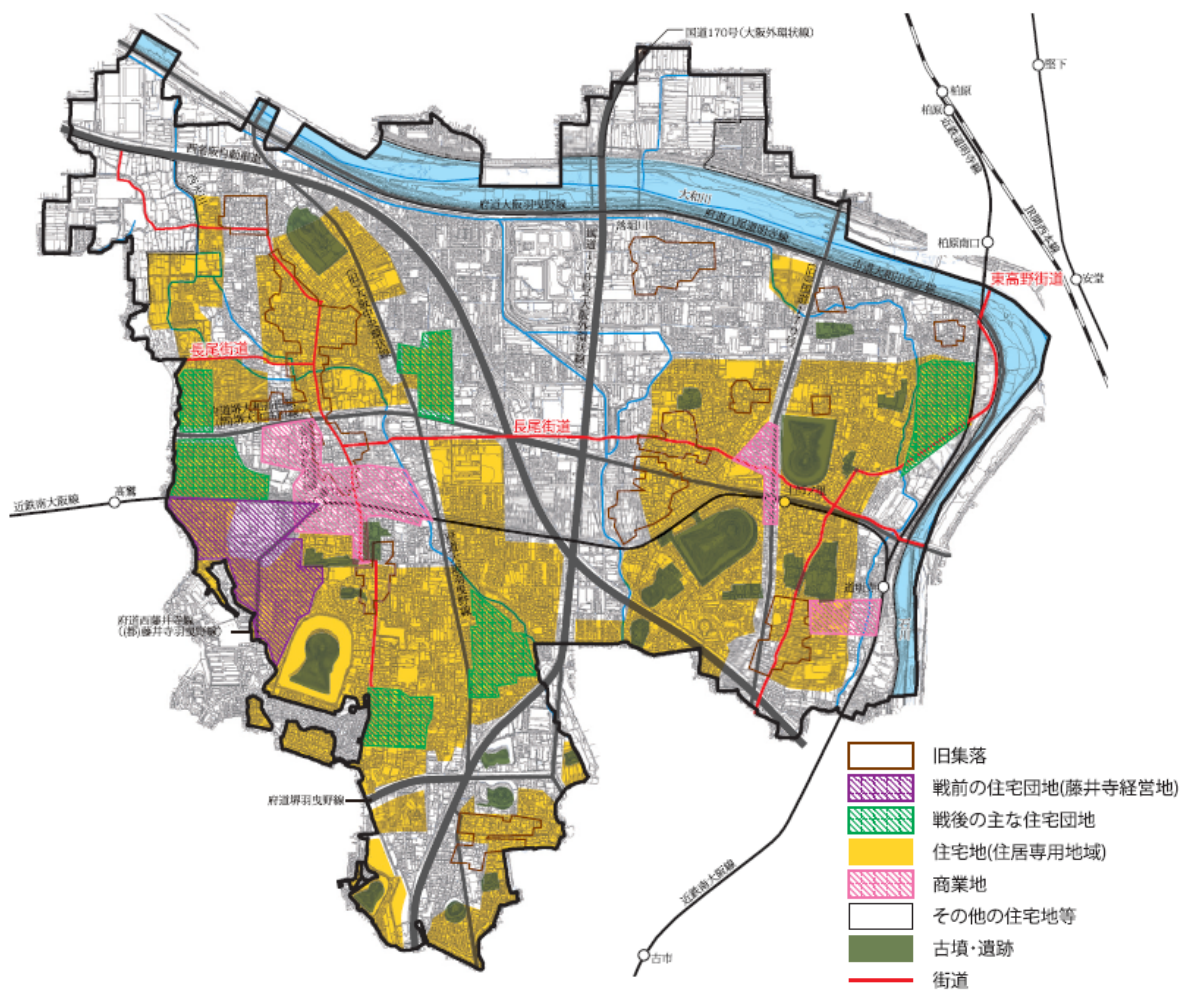
(2) 土地利用

本市の土地利用状況を見ると、住宅地が 36.4%で最も多く、次いで道路が 16.6%、その他の宅地が 14.8%等となっています。



▲土地利用状況（2020 年）

資料：大阪府統計年鑑

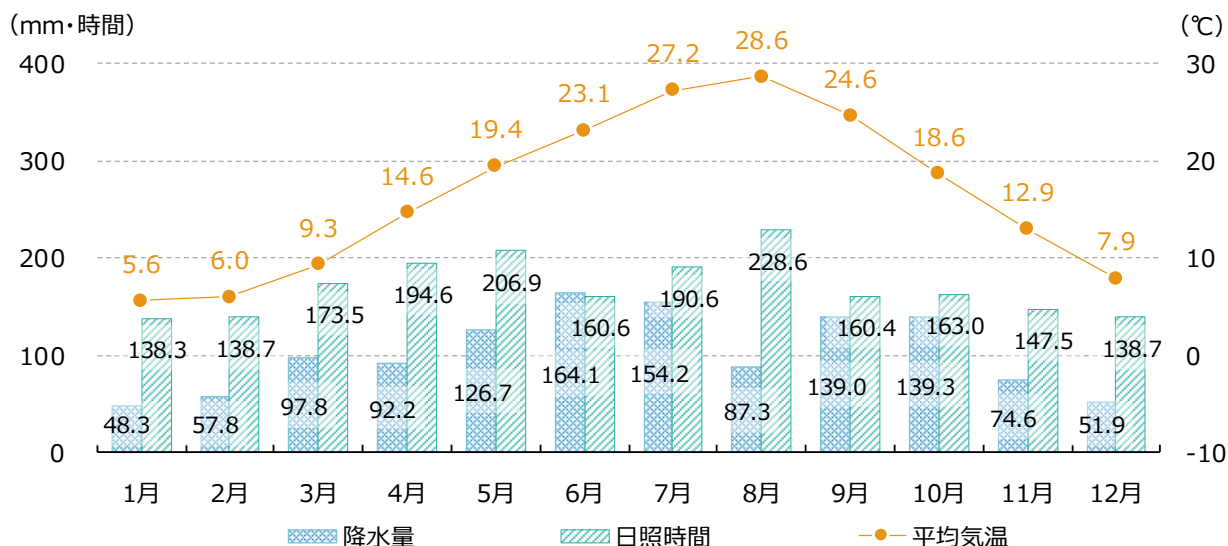


▲住宅地の状況

資料：藤井寺市都市計画マスタープラン

(3) 気象

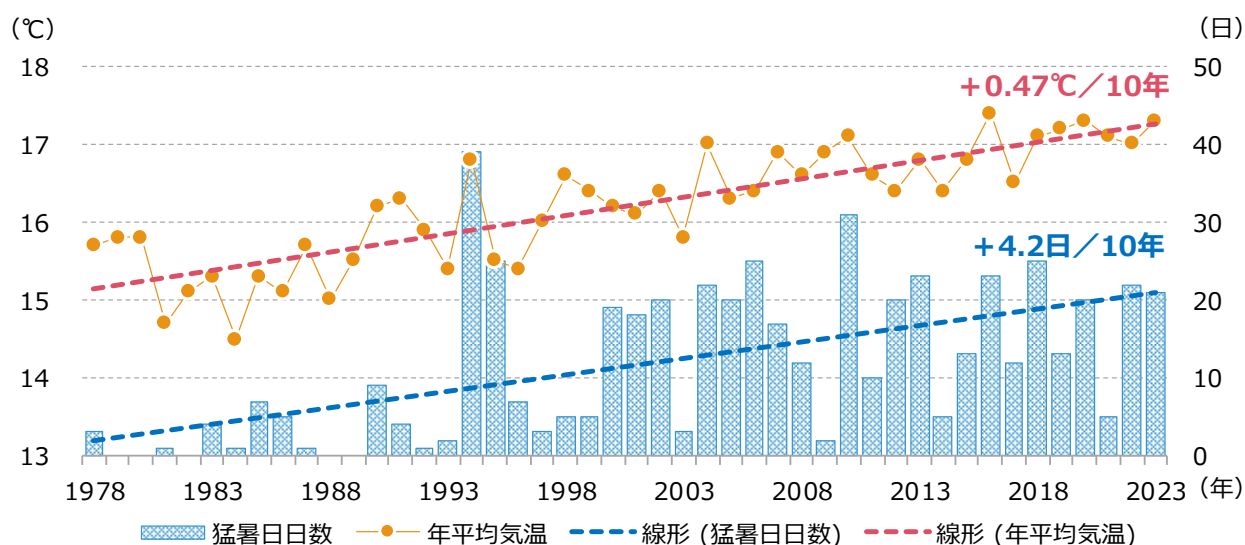
堺地域気象観測所における年平均気温、年間降水量、年間日照時間の平年値（1991年から2020年の30年間の平均値）は、それぞれ16.5℃、1,233.2mm、2,041.4時間となっています。月平均気温の平年値は8月が28.6℃で最も高く、月間降水量の平年値は6月が164.1mm、月間日照時間の平年値は8月が228.6時間で最も多くなっています。



▲月平均気温、月間降水量、月間日照時間の平年値

資料：気象庁統計資料（堺地域気象観測所）

堺地域気象観測所における年平均気温は長期的に上昇傾向にあります。また、平均気温の上昇に伴って、猛暑日（日最高気温が35℃以上の日）の日数も増加傾向にあり、2022年には22日、2023年には21日観測されています。



▲年平均気温の推移

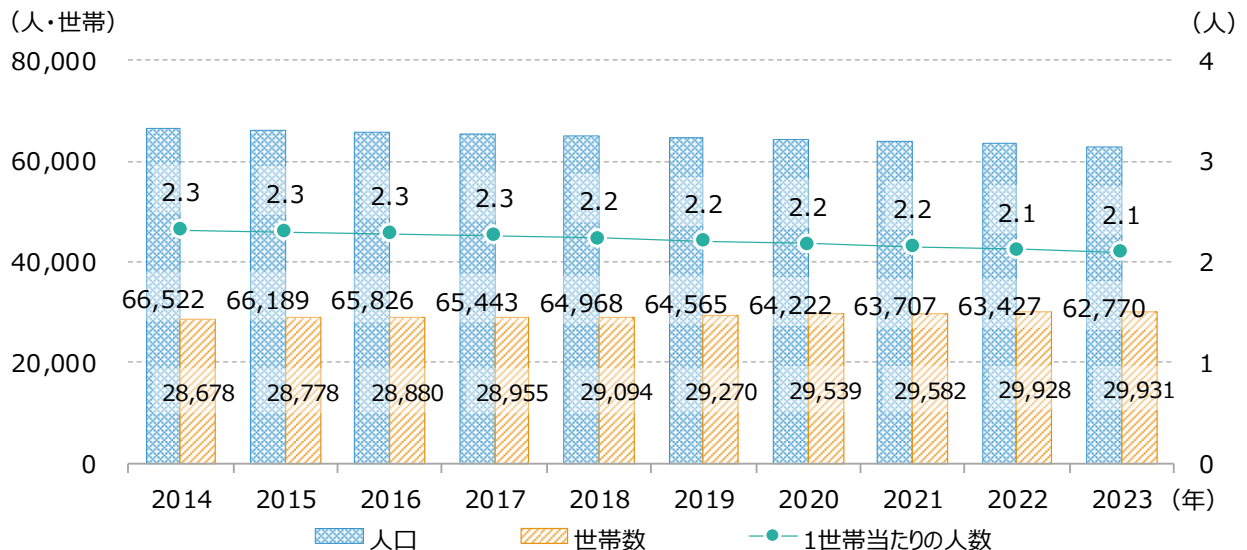
資料：気象庁統計資料（堺地域気象観測所）

2 社会的特性

(1) 人口・世帯数

本市の人口は、2023 年時点で 62,770 人となっており、減少傾向で推移しています。一方、世帯数は、2023 年時点で 29,931 世帯となっており、増加傾向で推移しています。

1 世帯当たりの人数は、2023 年時点で 2.1 人と減少傾向で推移しており、核家族化や単身世帯化が進行しています。

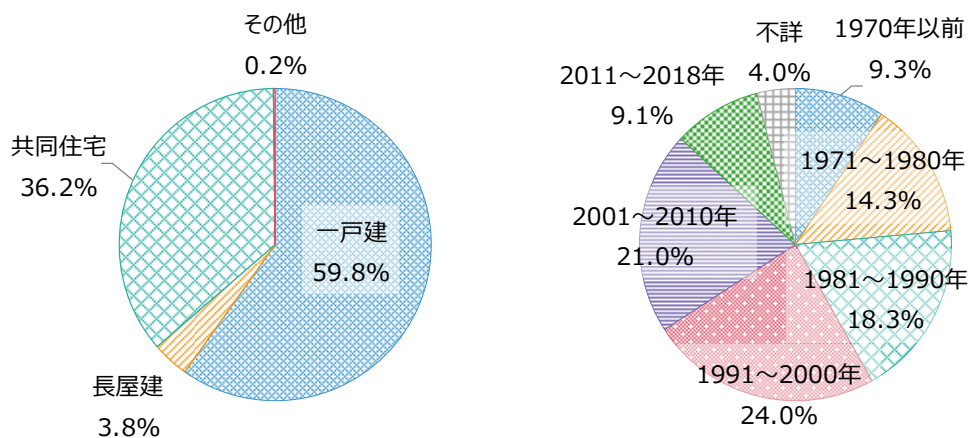


▲人口及び世帯数の推移（各年9月末現在）

資料：人口の推移（藤井寺市 HP）

(2) 住宅

本市の住宅を建て方別に見ると、一戸建が59.8%で最も多く、建築時期別に見ると、1991～2000年が24.0%で最も多くなっています。また、「建築基準法」の改正による新耐震基準適用（1981年）より前に建築された住宅は23.6%となっています。

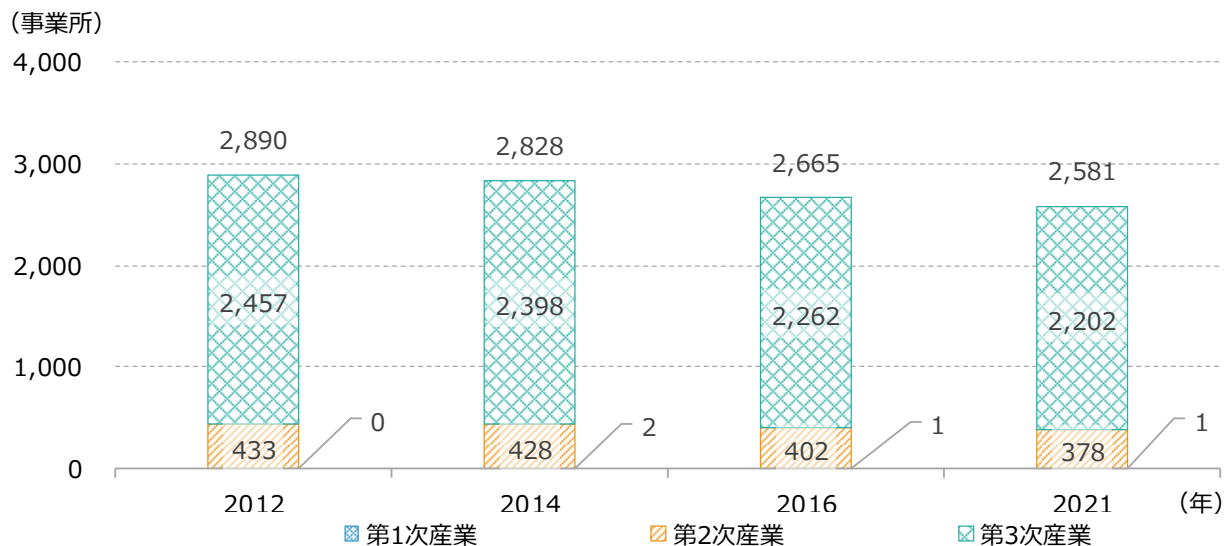


▲住宅の建て方別の構成（左図）及び建築時期別の構成（右図）（2018 年度）

資料：住宅・土地統計調査

(3) 事業所数の推移

本市の事業所数は、2021 年時点で 2,581 事業所となっており、減少傾向で推移しています。2021 年の内訳を見ると、第 3 次産業が 85.3%で最も多く、次いで第 2 次産業が 14.6%、第 1 次産業が 0.04%となっています。

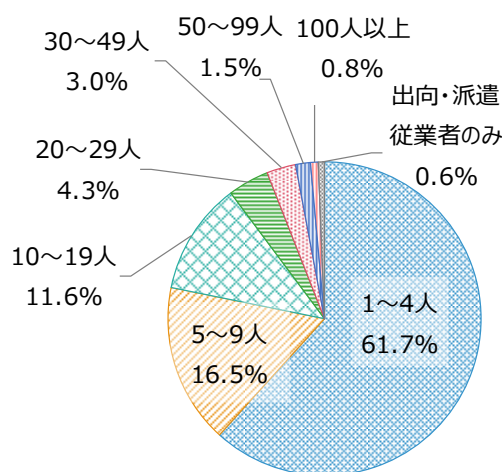


▲事業所数の推移

資料：経済センサス活動調査、経済センサス基礎調査

(4) 事業所の規模

2021 年における事業所を従業員数別に見ると、1～4 人が 61.7%で最も多く、次いで 5～9 人が 16.5%、10～19 人が 11.6%等となっています。

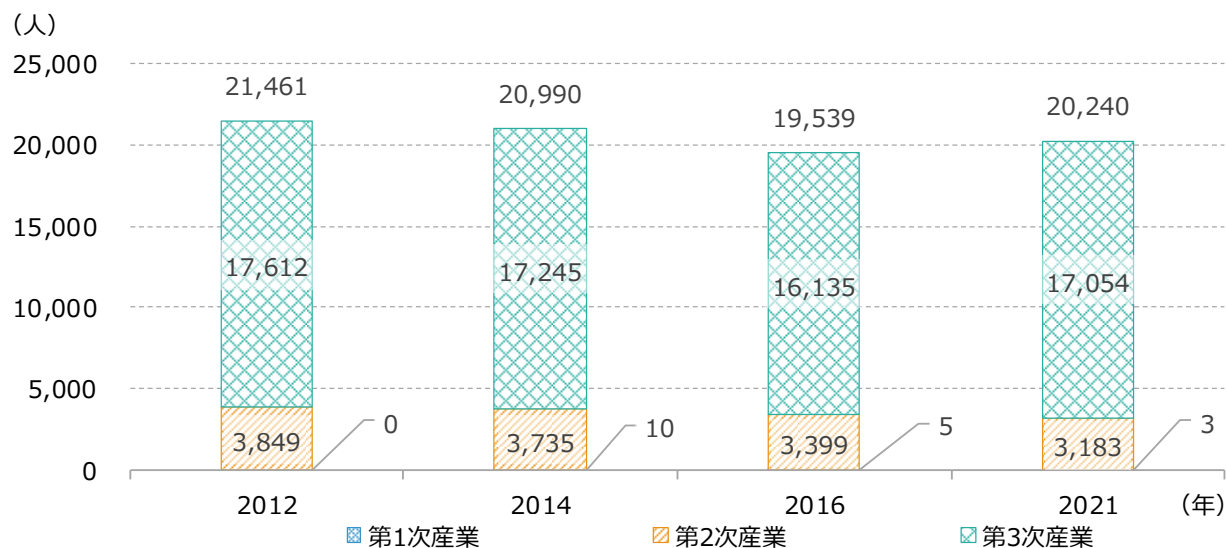


▲事業所の規模（2021 年）

資料：経済センサス活動調査

(5) 従業者数の推移

本市の従業者数は、2021年時点で20,240人となっており、概ね減少傾向で推移しています。2021年の内訳を見ると、第3次産業が84.3%で最も多く、次いで第2次産業が15.7%、第1次産業が0.01%となっています。

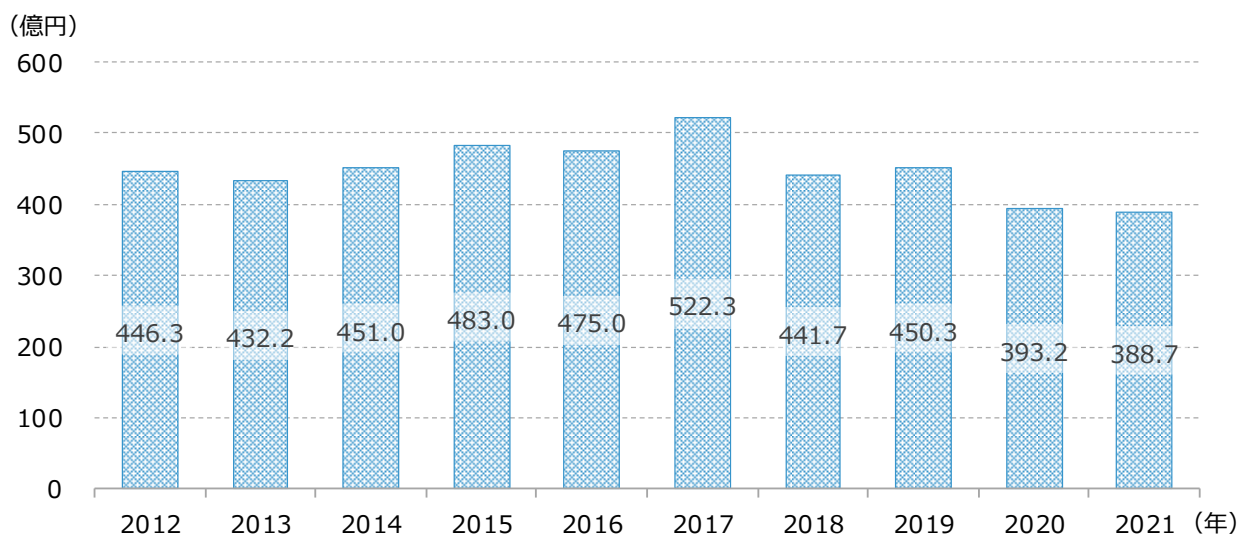


▲従業者数の推移

資料：経済センサス活動調査、経済センサス基礎調査

(6) 製造品出荷額等の推移

本市の製造品出荷額等は、2021年時点で388.7億円となっています。2020年以降は新型コロナウイルスの影響も考えられますが、概ね400億円台で推移しています。

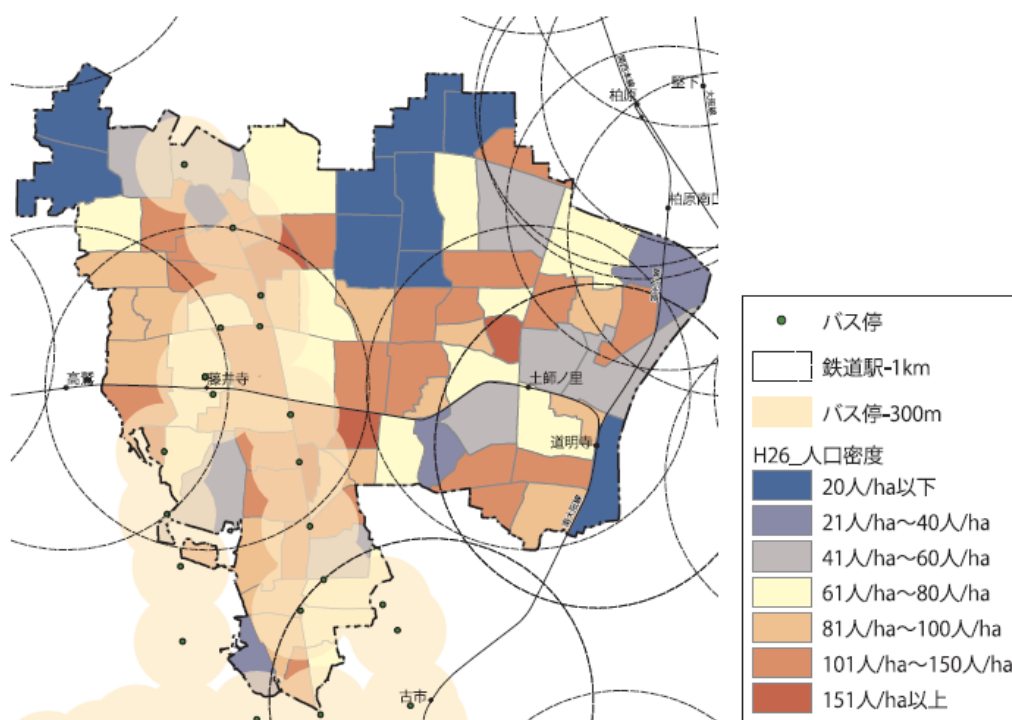


▲製造品出荷額等の推移

資料：工業統計調査、経済センサス活動調査、経済構造実態調査

(7) 公共交通

本市では、藤井寺駅と藤井寺市役所を起点として、民間路線バスと公共施設循環バスによる公共交通のネットワークが形成されており、人口密度の高い地区は概ねカバーしている状況です。

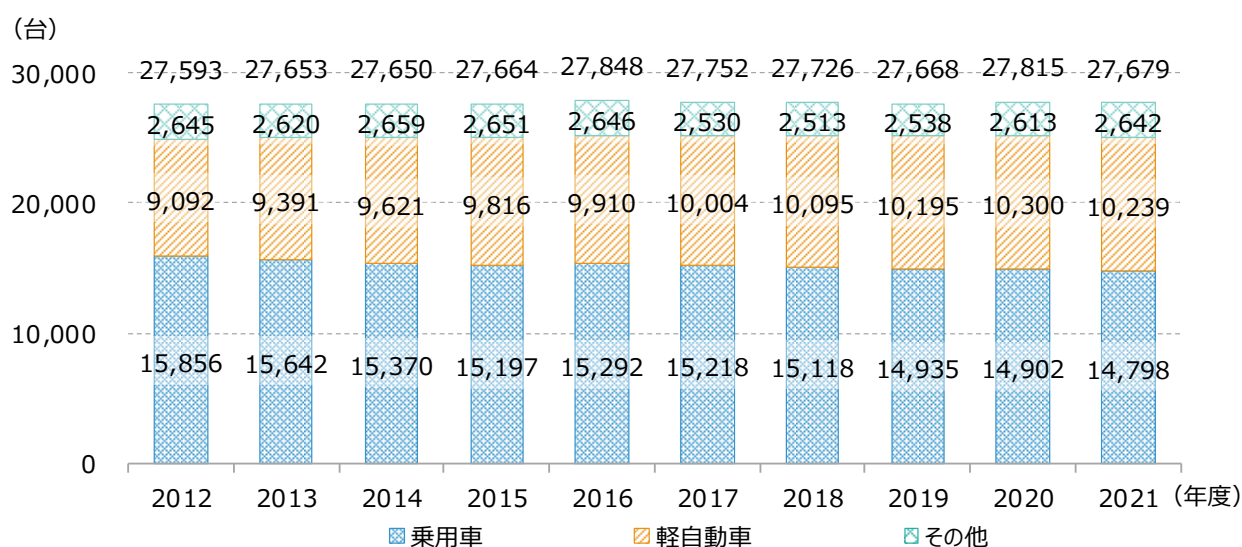


▲公共交通のカバー状況

資料：藤井寺市都市計画マスタープラン

(8) 自動車保有台数の推移

本市の自動車保有台数は、2021年度時点で27,679台となっており、ほぼ横ばいで推移しています。車種別の内訳を見ると、乗用車は減少傾向にあるものの、軽自動車は増加傾向で推移しています。

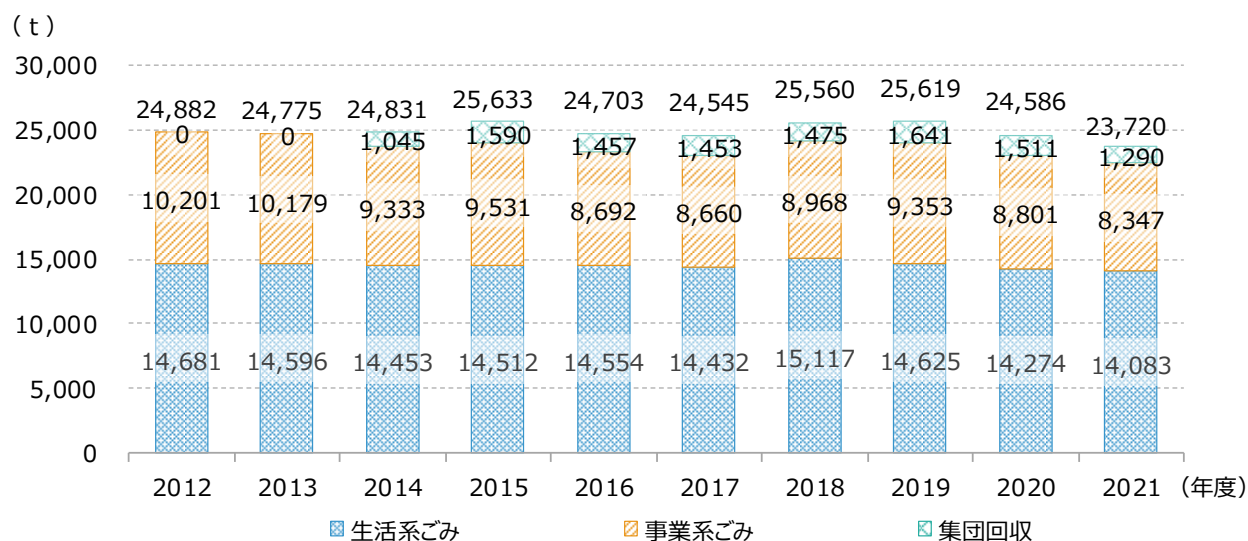


▲自動車保有台数の推移

資料：大阪府統計年鑑

(9) ごみ排出量の推移

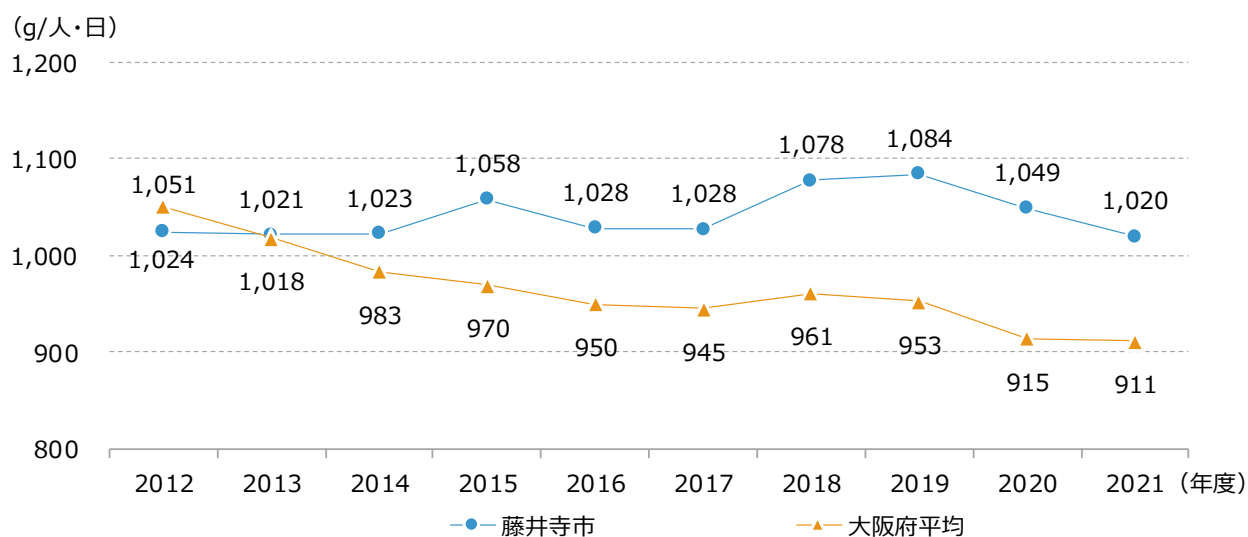
本市のごみ排出量は、2021 年時点で 23,720t となっており、年度によって増減はあるもののほぼ横ばいで推移しています。



▲ごみ排出量の推移

資料：一般廃棄物処理実態調査

1 人 1 日当たりのごみ排出量は、2021 年時点で 1,020g となっており、年度によって増減はあるもののほぼ横ばいで推移しています。大阪府平均よりも多い水準で推移しており、2021 年度時点では大阪府内 43 自治体中で 4 番目に多くなっています。

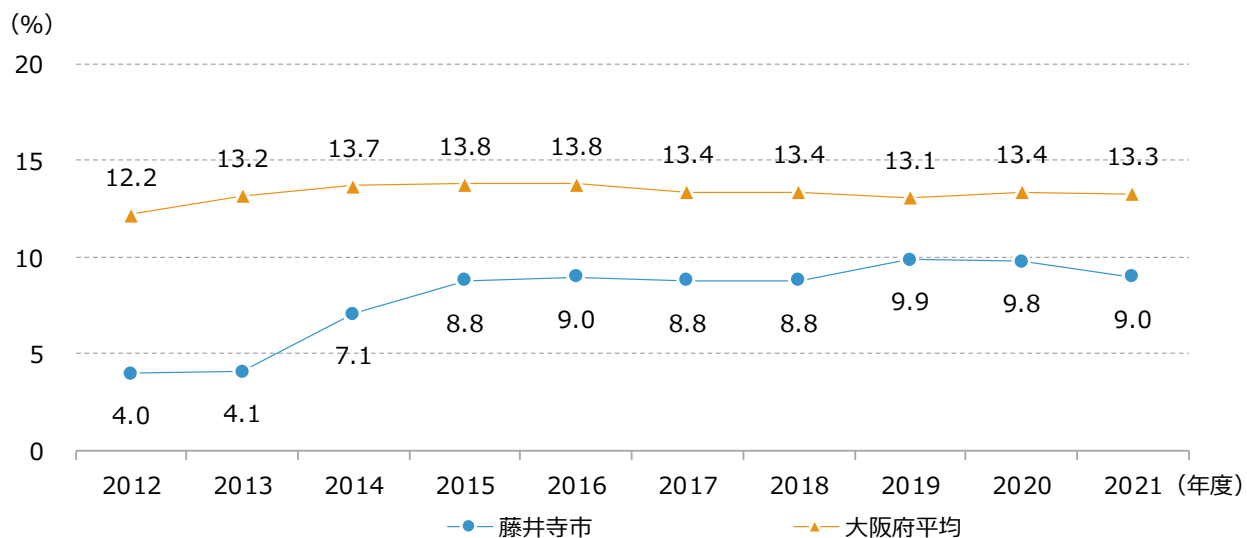


▲1 人 1 日当たりのごみ排出量の推移

資料：一般廃棄物処理実態調査

(10) リサイクル率の推移

本市のリサイクル率は、2021 年時点で 9.0%となっており、2015 年度以降はほぼ横ばいで推移しています。大阪府平均よりも低い水準で推移しており、2021 年度時点では大阪府内 43 自治体中で 5 番目に低くなっています。



▲リサイクル率の推移

資料：一般廃棄物処理実態調査